

2010年10月22日
株式会社日立製作所
Hitachi Europe, Ltd.

日立ヨーロッパがTELEHOUSE EUROPE社に 高効率モジュール型データセンタ空調設備を納入

株式会社日立製作所（執行役社長：中西 宏明／以下、日立）の欧州における現地法人Hitachi Europe, Ltd.（社長：清水 章／以下、日立ヨーロッパ）は、このたび、英国ロンドンにあるTelehouse International Corporation of Europe Ltd.（社長：三井 徳次／以下、TELEHOUSE社）のTELEHOUSE LONDON Docklands Westデータセンタ（以下、London West DC）内に、高効率モジュール型データセンタ（MDC）を構築し、冷媒自然循環（NC; Natural Circulation）方式空調設備を納入しました。

2010年から英国に導入された制度「Carbon Reduction Commitment（CRC）」により、イギリス企業は二酸化炭素（CO₂）排出量削減が喫緊の課題となっております。この流れを受け、TELEHOUSE社はより省電力なDC運用に取り組んでおりました。

また、ITの高集積化へのニーズは年々増えており、日立はこれに応えるべく、高密度かつ省電力なIT環境の提供について、2010年4月より、TELEHOUSE社と共同で検討を進めており、この度、提供環境が整いましたのでTELEHOUSE社へ納入をいたしました。

TELEHOUSE社は、London West DC内において、幅7.8m、横3.6m、計28平方メートルのITエリア内に高効率モジュール型データセンタを構築しています。今回、日立はその中に、冷媒自然循環技術が搭載されたドア型NC空調機（NCドア; 主冷却機）およびラック型NC空調機（NCラック; バックアップ用）を納入しました。消費電力量が多い従来の据置型室内空調機を用いないため、室内空調機としては消費電力を抑えることができます。また、従来の据置型室内空調機では1ラックあたり3～6kWまでしか冷却できませんでしたが、日立NC空調導入により、10kWまで冷却可能になります。

今回、その環境に設置した主な製品および特徴は以下のとおりです。

■高効率モジュール型データセンタに設置した製品

- ドア型NC空調機 11台
- ラック型NC空調機 4台
- シェルアンドチューブ（水冷式）熱交換器（HEX） 4台
- 配管および冷媒温度制御用3方弁

■特徴

- ・ポンプ、圧縮機が不要なため、消費電力が削減できます。
- ・IT熱負荷の変動に応じて、ファンの回転速度と冷媒流量の自動またはマニュアルでの設定、制御ができます。
- ・熱交換器に必要な冷水は、外部チラーにより冷却されるため、新たな設備が不要です。

■日立「モジュール型データセンタ」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/mdc/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 国際情報通信統括本部 [担当:酒井、幸(ゆき)]
〒140-8572 東京都品川区南大井 6-27-18 日立大森第二別館
電話:03-5471-3224(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
